

NEWSLETTER FROM ASAHI TOWN TO THE WORLD



りんご園便り

せいの
山形県あさひまちの清野りんご園から全国のみなさまへ、
年1回お届けする私たちのニュースレター

第36号



ASAHI-MACHI TODAY 1 りんご黒星病の注意報！！

ASAHI-MACHI TODAY 2 「国際人」への第一歩

TOPICS 1 ユニセフ&社会貢献活動レポート

TOPICS 2 ポストンでの建設的な学び

TOPICS 3 道普請と堰普請

TOPICS 4 世界一カッコいい通勤！

ASAHI-MACHI LIFESTYLE りんご農家の1日(美人3人娘)

NOTICE 大切な知らせ

AUTUMN 2019

清野りんご園 SINCE 1955

朝日町りんご栽培 SINCE 1887

りんご黒星病 の注意報!!



⑦安全に基づいた防除対策

雪残る早春に、やっぱり来たか!と思う注意報が県から出され、私たちはやきもき。りんご黒星病(クロホシ)が県下全域においてやや多いとのこと。県の園芸試験場は科学的調査を行い、近年孢子の初飛散が早まっているという。黒星病は早春の降雨やその後の冷涼な気候と降雨により拡散されるという。この頃は、地球温暖化による被害は多数見聞きするが、全国のりんご産地では逆の現象が。困ったものです。私たちも生活がかかっている事なので、しっかり

勉強をして対策を立てました。現在(8月末)私たちのりんご園では被害はありませんが、近隣の農家では困っている方もいるようで心が痛い。このような伝染性の強い病原菌を防ぐには地域の大きい単位で対策をしなければいけません。僕が副会長を務める「朝日町りんご生産対策協議委員会」でも早い段階から対策を呼びかけています。「りんごの朝日町」にふさわしい品質のりんごを、これまで通りお届けできればと思います。



①落葉で越冬



②降雨・冷涼な気候で拡散



③幼果に伝染



④拡散防止のため地中処分



⑤カサブタ状で収穫されたりんご



⑥内部までの影響はなし

「国際人」への 第一歩

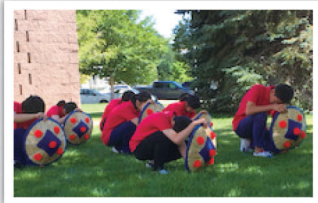
written by Yuna

朝日町で行われるアメリカへの中学生海外派遣事業に参加して、成長できたと自分自身で感じました。

1つ目は、自分の意見をしっかり伝えたいと思うようになったことです。それは、アメリカでは皆が一生涯懸命に話しかけてくれて、それにちゃんと答えたいと思ったからです。2つ目は、自己責任の重さを身に染みて感じられたことです。事前学習から繰り返し言われたことですが、その言葉の本質が分からないと感じていたのは、私に経験が無かったからだと分かりました。ホームステイ先には、親も先生もいない、自分ですべてやらなくてはいけない状況があり、自己責任の経験ができたと思います。

3つ目は、英語力が身についたと思います。日本で聞いた英語とは全く違うテンポ、強弱、スピードに触れたことで、リスニング力があがったと思います。

このプログラムで学べた全てのことが、高校・大学進学、そして私の将来の夢をかなえることにつながるにだと思いました。私の将来の夢は、発展途上国の方々に勉強を教えたり、暮らしの手伝いをしたりすることです。それでも知識や経験、物の見方、視野の広さなどまだまだ足りないのだと思います。足りないものを埋めるためには、日本に留まっていたはいけないうのだと分かりました。海外に出て、そこにある違いを見て、考えることでしか得られないことがあるのだと思います。今の時代、インターネットを通じて簡単に違いを知ることができます。しかしそこにあるのは誰かの意見で、自分で考えたものではありません。人の意見を取り入れることは大切ですが、自分で考えたことはそれ以上に大切なのだと思います。自分の目で多くのものを見、意欲を持って学び、発信し続ける人になりたいです。



TOPICS 1

ユニセフ& 社会貢献活動レポート

私たちは、ふじりんごの「販売箱数」に連動する形で、ユニセフに募金し続けています。様々な場所で現在も起きている紛争。犠牲になっている多くの子供たちのために少しでも貢献できたら嬉しいです。



2008年～2017年 **1,094,800円**

2018年 **88,000円**

難民支援NPO法人 WELgee (ウェルジー)

“難民”と聞くとどんなことを思い浮かべますか？ かわいそうだけど遠い国で起きていること？ でも、日本にも難民申請のために毎年多くの人々が日本に来ています。行き場をなくして、困っている大勢の人がいます。そんな中、私が以前から応援している女性が、WELgeeを立ち上げました。「難民の人も歓迎できる社会」「共にカラフルなセカイをつくる」ことを目指しています。「難民の方と共に語り合うイベント」の開催や、緊急に寝床を必要とする難民の方がすぐに入居できるシェルター兼シェアハウスの運営等を行っています。国籍・人種・宗教の違いを超え、自らの境遇に関わらずやりたいことを実現できる、そんな社会を目標としている彼女たちの活動を応援していきたいと思っています

TOPICS 2

ボストンでの建設的な学び

written by Jun

私は今回の研修に参加して、たくさんの貴重な経験をする事ができた。中でも11日のハーバード大学のパノスさんの講義と、12日のMIT工科大学訪問で、特に多くの刺激を受け、自身の知見を広げることができた。パノスさんの講義では、自分の内面をアピールすることができるということを学んだ。私たちは実際に、形式ではなく内容を重視した挨拶をした。その挨拶は、相手のことをもっと知りたいと思わせるようなものだった。自分を知ってもらうために、相手を知るために、立場ではなく内面を伝えるというのは帰国後の自分のコミュニケーションに役立っている。また、言語には背景にある文化が表れていること、その文化を知ることが言葉を理解することにつながることも学べた。MITでは、遠藤さんの話を聞いた。特に留学と大学選びの話は、今の自分に深く関わっていた。私は中学生のころにもアメリカに研修に行き、そのころから留学に興味を持っていた。しかし、遠い未来のことのように感じていた。遠藤さんの話を聞いて、留学は身近なことだとわかった。大学選びについては、自分の嗜好、入りたい研究室などを考えることが重要だとわかった。これからの探究活動や学校生活で自分が本当にしたいことを見つけて生きたい。この研修では、ここに書ききれないことも含め、本当に得難い経験をしたが、今私が最も強く感じていることは、「どうしてもっと積極的に学ばなかったのだろう」と言う悔しさだ。アメリカで経験したことは本当に貴重なことで、そこから学んだたくさんのことは自分の成長



につながったと実感している。しかし、もっと積極的に学んでいたら、研修はより充実したものになったと思う。この研修で学んだこと、できたこと、できなかったことのすべてをこれからの生活に生かせるように、積極的に学んでいきたい。身近な場として、探究活動で、積極的に質問したり意見を言ったりしていきたいと思う。

TOPICS 3

道普請と堰普請

田舎での生活で欠かせないことが、協働活動の「道普請」です。流行りのスマホでググってみると、地域の皆様の協働活動により、生活環境を良好に保全していくため、道路や水路などの修理・草刈りを行う勤労奉仕の作業とあります。私たちが住む地区でも、春の雪解けが進むと水路の落ち葉片付けや、生活道路の草刈り、壊れた道路に簡易舗装をしたり、砂利敷きをしたりします。地区の入り口の花壇の整備には、子供からお年寄りまで参加し、話にも花が咲きます。地区民それぞれができることに汗を流します。農家の方は草刈機械やスコップ、一輪車を持ち出し、サラリーマンの方は、じいちゃんから譲り受けた年季の



入った手鎌で、子供たちは移植べらで参加します。この中で僕のお気に入りの普請は、和合堰普請(せきぶしん)です。和合堰は、全長6.8km、幅0.7mで、1688年元禄元年、最上川の支流送橋川から農業用水を取水するため、農民が開設したものです。古楨地区の取水地点から終点の和合の桜堤までの間は実にすばらしく、勢いよく水が吸い込まれる取水口や、山を貫く手掘りのトンネル、くねくねの山の中腹を通る頃には、源流の送橋川は遙か下を流れます。山を潜り抜け、畑を通り、田んぼやりんご園の間を悠々と流れ



ます。この堰普請の度に、先人の苦労や後世への思いやりに感動します。作業の合間に長老から聞く昔話は実に興味深く、身を乗り出し質問攻めになります。皆で流す汗はさすがしく誇らしいものがあり、来年もこの堰普請が楽しみです。

TOPICS 4

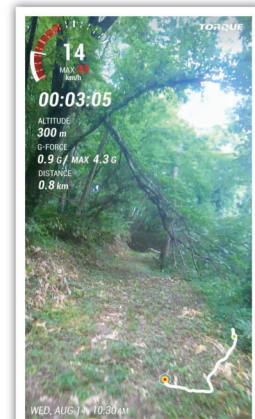
世界一カッコいい通勤!

せっかく田舎に住んでいるのだから、ここならではの楽しいことを見つけ、それを遊びに変えることができれば最高だと思います。今年も最上川を存分に楽しんでいます。NPOブナの森の「最上川縦断カヌー探訪」、朝日少年自然の家の「最上川いかだ下り」、クラブの「カヌー教室」等々。外から眺める川と中で遊ぶ川はまるで違って、川の中では誰もが冒険家や探検家そのものになります。



「りんご園までの通勤=根合田山を登ること」ですが、今年の夏、通勤の片道自転車でやってみました。思いついたのは、地区の道普請で、昔の通学路の保全活動中でした。地元の和合小学校は明治8年開校、平成20年に廃校になりました。和合平の子供たちの通学路だった所が保全の対象。山の中で、確かに草と樹が成長して大きくなっていますが、道の原型は分かります。昔の子供たちの元気のいい笑い声が木漏れ日となり降り注ぐ中、たくさんの倒木

を片付け、通学路内の樹を伐採し、石を片付けます。見事な連携プレイ。一緒に作業していた町会議員の方が、俺もこの道を6年間通い、卒業式では皆勤賞をもらったと自慢気に話します。みんなの力で、おそらく世界一カッコいい通学路に復活しました。しかし、せっかく保全活動をして利用する人がいない!そこで、僕が通わなければという変な義務感に襲われ、ついに、この道が僕の通勤路に大変身。出勤は軽トラックにMTBを載せて、帰宅はMTBで根合田山から一気にダウンヒルで攻めます。距離2km、標高差200M、時間6分のかなりワイルドなアドベンチャーで、実に気持ちがいい!最高の通学路が最高の通勤路になりつつある。僕一人の通勤路にするには申し訳がないので、皆さんと一緒に世界一カッコいい通勤してみませんか?



りんご農家の1日(美人3人娘)

ASAHI-MACHI LIFESTYLE

昨年11月に行われた「中学生デザイン選手権2018」に娘の由奈が友達と出場しました。なかなか面白いので紹介いたします。

1

私たちは朝日町の農家の子供です。



2 朝日町の課題として、農家のイメージがあまり良くないと考えました。

農家はカッコ悪い!
農家をあまり知らない

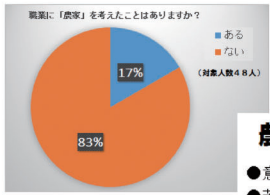
農家は大変だ!
まわりの農家の人

農家は未来がない!
農家をあまり知らない

農家は朝が早そう!
農家をあまり知らない

農家は土くさい!
農家をあまり知らない

中学生(同級生)にアンケート



3 イメージを明確にするために同級生にアンケートとインタビューを行いました。その結果「職業に農業を考えたこと」がない人が83%もいました。

4 次に、朝日町の現状を知るために農家の方にインタビューをしてきました。

農家さんのインタビューを通して

- 意外と子どもと一緒にいる時間はあるから楽しい
- 若い人にたくさん来てほしい
- 農家と一緒に楽しめる機会があるといい
- 農家を手伝ってくれる人を期待している
- 農家は楽しさを都会の人や若い人にわかってほしい
- 農家の女性のトイレ問題を解決してほしい
- 農家の高齢化が問題なので若い人が農家をしてほしい

朝日町役場のインタビューを通して

- 農業の後継者不足が課題
- 若手の農業者が少ないことが課題
- 朝日町の農業にはさまざまな課題がある

5 その結果、課題もあるけど楽しく頑張っていて、若い力に期待をしていると分かりました。さらに、現状を知るために朝日町役場の方にインタビューしてきました。



この5人の方に、農家戦隊つくるんジャーをしていただくことになりました!

【アクションプラン】

- 1 『つくるんジャー』と一緒に農業体験
 - 春から秋「収穫体験」
 - 冬「加工品づくり体験」
- 2 地域の祭りやイベントに『つくるんジャー』が各場する
 - ワインまつり
 - ミー [kukker](#) [You Tube](#) 等
- 3 カッコイイ姿やワクワクする活動を [や](#) で発信する
- 4 若工大の学生とコラボした『つくるんジャー』の漫画をつくる
- 5 「桃色ワサビ」とコラボした『よいこのためのショー』を企画する

6 役場の方々には、若手の農業就農者を増やすために、新しい発想を期待していることが分かりました。そこで考えたのが、「農家戦隊つくるんジャー」



8 私たちの願いは、この企画を通して、若い人に農業について興味を持ってもらい、農家という仕事をもっと活発になることです。そのためのアクションプランは5つあります。

9 このアクションプランを町役場に提案してきました。実行頑張ります!



なんと! 予選出場139校、決勝進出5校中2番目の賞をいただきました。

10

大切な知らせ NOTICE

1 ふじりんごの販売はシナノゴールドとの詰め合わせに変更になりました。ふじのみの販売はありません。詳細はりんご園カタログをご覧ください。

3 クロネコヤマトの宅配便の料金に変更になりました。全国一律 900円から1,000円に、沖縄県は2,000円から3,000円になりました。

2 りんご園便りとりんご園カタログは、年一回秋のお届けに変わります。

4 今年の直売日は11月16日(土)、11月23日(土)12月は毎日です。11月は、直売日以外は収穫のために自宅にいませんのでご注意ください。訪問日が決まりましたら、電話をいただけると嬉しいです。

清野りんご園

所在地 山形県西村山郡朝日町和合2682-10
 電話・FAX 0237-85-0931
 園主携帯 090-9741-7948
 メールアドレス seinoringoen@hb.tp1.jp
 ネット販売

